

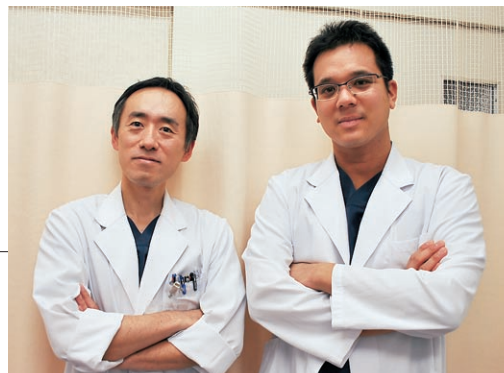
耳原総合病院 整形外科の紹介

整形外科部長 副院長

かわらばやし まさとし

河原林 正敏

1994 (H6) 年 香川大学卒



整形外科

よしおか あつし

吉岡 篤志

2005 (H17) 年 大阪医大卒

当科の特色

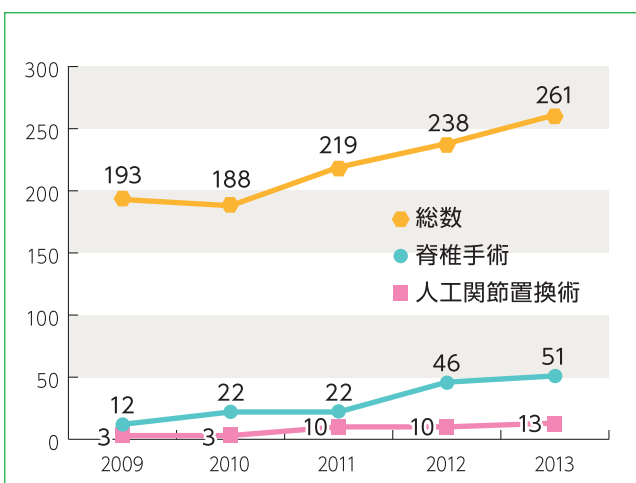
- 確立された診断治療技術を第一線医療で十分に提供できるように努めています。手術に関しては、顕微鏡下の脊椎手術、低侵襲なapproachを用いた人工関節など低侵襲な手術も行っております。
- 日常診療においては、患者様それぞれの病態、社会・生活背景を踏まえて治療方針を提案していくよう努めております。
- 様々な基礎疾患(糖尿病、透析、心疾患など)を併存されている患者様にも、内科医、麻酔科医と共に診療を行い、最善と考えられる治療を提案します。
- 経済的、社会的に様々な困難を持つ患者様にも上記の医療が提供できるよう努めています。
- 予防医療・地域医療として、骨粗鬆症やロコモティブシンドローム、膝・肩・腰の痛みなどの勉強会を地域に出て、行っております。

当院で可能な整形外科の検査

- 画像検査
 - X線
 - X線CT
 - MRI
 - 関節造影 脊椎腔造影 神経根造影
- 骨密度
- 末梢神経伝導速度
- 膝関節鏡

検査のみの依頼も承っております。お気軽にご連絡ください。

整形外科 手術数の推移 (2009～2013年)



部位	疾患名	術式	症例数
脊椎	頸椎症性脊髄症・腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	46
		脊椎固定術	5
上肢	上肢骨折 手根管症候群 腱鞘炎	骨接合術・人工骨頭置換術	15
		手根管開放術 腱鞘切開術	3 21
下肢	下肢骨折 変形性関節症	骨接合術・人工骨頭置換術	48
		人工関節置換術	13
	その他	その他	110
計			261

手術

近年、外科系分野では、低侵襲がキーワードとなっております。整形外科分野でも、小皮切による骨折手術や人工関節手術、関節鏡や内視鏡を用いた手術など、低侵襲の手法が開発されています。当院でも、脊椎手術では顕微鏡を使用、人工関節手術では低侵襲なapproachとimplantを選択、膝の半月板切除には関節鏡を使用して手術を行っております。

骨折

体制上、緊急の処置が必要な場合の受け入れは難しい場合もありますが、ERでの受け入れの強化により、通常の骨折は受け入れを増やしております。合併症など大きな問題がなければ、転院後数日以内での手術を行えるように努めております。

脊椎

2010年に顕微鏡を導入。脊椎手術件数は増加しています。不安定性のない腰椎1椎間の脊柱管狭窄症やヘルニアの手術では、顕微鏡の除圧術の適応となり、1週間以内での退院が可能となります。腰椎に不安定性を認める場合は、固定術が必要になることもあります。また顕微鏡を使用している頸椎椎弓形成術も行っております。頸椎疾患は進行してしまうと改善が難しくなります。「最近箸がもちにくくなった」「つまずくようになった」などの症状がでましたら、ご相談いただくと幸いです。

● 顕微鏡の利点

- 奥行きのある立体的な拡大視野が容易に得られ、愛護的な手法の求められる神経周辺操作を安全に行うことができます。
- 助手が術者と同一の手術野を見ながら介助を行うことが可能です。
- 棘突起縦割法や棘突起間進入法による椎弓切除術など、手術侵襲をできるだけ小さくする工夫も行うことができますようにしました。
- 内視鏡手術用の円筒トラクターを用いた小切開手術も可能です。



人工関節

2014年度では、2倍ぐらの症例の増加を認めております。人工膝関節では、低侵襲なapproachとimplantを選択し手術を行っております。人工股関節では、症例を選んで最少侵襲手術といわれる前方アプローチによる手術(ALS)を行っております。今のところ大きな合併症や早期の再置換などは認めておりません。入院期間は、早ければ、術後3週間程度となります。手術を悩んでいるなど相談のみの受診でもかまいませんので、お気軽にご紹介ください。



予防医療

地域の健康を守るため、予防医療が重要と考えております。骨粗しょう症は、国内に推定1200万人の患者様がおられますが、治療をうけているのは、400万人といわれています。最近、骨粗鬆症分野での医療の進歩もあり、これまでのような重症骨粗しょう症による多発圧迫骨折の患者さんかなり減少できる可能性ができております。当院では、最新のDEXAを導入し、迅速に検査を行うことができております。PTH製材の導入も当院で可能です。ぜひご利用いただけたら幸いです。

開業医紹介 Introduction

自らの経験を活かし 安心の治療を追求しています

Interview

安田整形外科クリニック

やすだ ひろしげ

安田 浩成 院長



■ 医師を目指したきっかけは?

高校生の時に、下腿を骨折して手術を受けました。しかし、手術した医師はアルバイトで週1回しか来ず、他の先生やスタッフの対応は不親切で不安がいっぱいの入院生活でした。そのうち創感染を生じ、すぐに整形外科専門の小さな病院に移りました。建物は古いのですが、先生やスタッフは親切で安心して治療を受け治してもらいました。これがきっかけで私も人に安心して治療を受けてもらえるような医師になろうと考えました。

■ 診療の際に心がけていることは?

- ・ 患者さんの話を聞く時や患者さんに話をする時には出来るだけ患者さんの目を見るようにする。
- ・ 模型やパンフレットを使って病気の状況や治療方法などを説明して、患者さんには出来るだけ理解してもらう。
- ・ 患者さんには出来るだけ自分から治そうという気持ちになってもらう。

■ 地域医療について

この周辺地域は特に高齢者が多いので、診診連携や病診連携を充実させることは患者さんにとって大きなメリットです。

■ 耳原総合病院への希望・要望

地域医療の核になってください。

■ 最後に一言お願い致します

当院では、患者さんに安心して、気楽に治療を受けてもらえるように努めています。そして、その環境を作ってくれているスタッフの皆に感謝します。

- 血液型 A型
- 星座 射手座
- 趣味 ゴルフ、映画鑑賞
- 略歴

昭和54年 大阪市立大学卒
昭和54年6月～昭和56年6月
国立大阪病院整形外科
昭和56年7月～平成15年1月
大阪府立身体障害者福祉センター付属病院整形外科
平成15年3月～ 安田整形外科クリニック



◎耳鼻科スタッフ
ひとことメモ◎
いつも優しくお話し下さる安田先生の貴重なバックボーンをうかがえて、嬉しかったです。今後ともどうぞよろしくおねがいします。



安田整形外科クリニック

〒590-0804 堺市堺区緑ヶ丘南町3-2-19
TEL.072-280-0500

スタッフ 医師1名 看護師6名 事務2名 他11名

診療科目	外来診療時間	月	火	水	木	金	土
リウマチ科 整形外科	9:00 ~ 12:00	○	○	○	×	○	○
リハビリテーション科	16:30 ~ 19:00	○	○	○	×	○	×

休診:土曜日午後/木曜日/日曜日/祝日

